

自分でつくったがんは自分で治す 真の医療に目覚めた医師と末期がん患者の がん医療講演会

現役医師

畑地 美妃

元・余命3ヶ月ガン患者

ムラキ テルミ



医師 畑地美妃（はたじみき）プロフィール

東京女子医科大学卒業。同大学消化器病センター外科にてがん治療に従事。国立国際医療センター緩和ケア科、国立がんセンター緩和医療科に勤務。H23年から北海道洞爺にて消化器内科を中心に内科全般を診療。現代医療に携わりながら病の根本原因、真の医療の在り方、さらには真の社会の在り方を追求している



ムラキ テルミ プロフィール

ジュピターショップチャンネルの元パイヤー。テレビ通販では370億円という驚異的な売上げを達成し、テレビ東京「ガイアの夜明け」にカリスマパイヤーとして出演。2009年5月肝臓ガンで6ヶ所の大病院から余命3ヶ月を宣告される。2009年8月ドクター石原メソッドをスタート。2010年10月に完治！



2014年6月8日(日)

開場 12:30 開演 13:00 - 16:00

福岡市男女共同参画推進センター・アミカス4Fホール
福岡市南区高宮3丁目3-1 (西鉄高宮駅のとなり)

前売：1,000円 当日：1,500円 主催：がん体験共有会



お申込
QRコード



代表世話役 山口勝己

私は胃がんを宣告されて5年弱になりますが、手術などの三大療法に頼らず、断食・小食などの食事療法で、胃がんは大きくならずに、がんと共生できています

がん体験共有会とは

がんの患者やその家族が、この「アミカス」の会議室に毎月1回集まって、互いの体験を共有して学び合う会で、今月で31回になります
がんは今日、医学的には生活習慣病で全身慢性疾患に位置づけられる様になりましたが、それにふさわしい医療体制が十分に整っていないのが実情です。がんが生活習慣病なら、生活習慣をどう変えればがんを克服できるのか、このことについては三大療法中心の西洋医療は関心がなく、ひたすらにがんになったら“手術”放射線“抗がん剤”の対処療法に徹し、国の癌対策もそれを支援していますが、癌による死亡者は増える一方です
今回講演のお二人、自宅断食で末期がんを克服された患者と、現代医療に携わりながら病の根本原因、真の医療を追究している医師のお話しは、私達がん患者にはもちろん、現代医療に携わる方々にも素晴らしい提言になると思います

お問合せ・お申込：がん体験共有会 代表世話役 山口勝己

Tel: 090-8835-5736 E-mail: wisdom717@hb.tp1.jp

- 【お申込方法】 参加費1,000円×入場希望人数分を下記の口座にお振り込みください。
- 【銀行口座】 ゆうちょ銀行 総合口座 17470-35362701 社) がんを学ぶ友愛会
- 【振込み控え】 講演会当日に“振込み控え”をご持参ください、参加券となります。